



●大津市にある北比良・西福寺にて、「心にしみる秋の夜長のコンサート」。小さなお子さんからお年寄りまで集まって、1曲終わるたびに拍手が響きました。



ご主人の平尾卓志さんがアコースティックギターで伴奏し、奥さまの美季さんがコカリナや琵琶湖の葦(よし)で作られた「よし笛」を担当する歌のボランティアユニット「ほつとらいん」。普段はシステムエンジニアと看護士という音楽と全く無縁の仕事に携わりながら、地域に根ざした音楽活動を行っています。「仕事にしたら、収入や利益などお金のことを考えなければいけない。音楽は、音を楽しむもの。自分たちが楽しく演奏しなければ、聴き手にも楽しさは伝わらない」と卓志さんはキッパリ。



人と人をつなぐ、
こころ温まる
音楽を。

ルミなどいろいろな素材で作られ、材質によつて音色にも変化が出ます。しかし、音の優しさや温かさは共通していて、まるで音による森林浴を楽しんでいるような気分さえ味わえます。

このコカリナを取り入れてコンサート活動を行なっているのが、近江八幡市在住の「ほつとらいん」です。



夫婦の心が
ひとつになる、そんな
癒しのコンサート

彼らの音楽の魅力は口コミでどんどん広がり、いまでは年間一四〇回ものコンサートを行なうほどの活躍ぶりです。自分



●奈良県桜井市・等弥神社にて「第5回鎮守の森・秋色コンサート」。のんびりとした自然美豊かな雰囲気の中、優しい音色が響きます。



たちでコンサートを企画することはなく、お声がかかれば用意された会場へと機材を持って向かうだけ。「交通費さえいただければどこへでも行きますよ」と卓志さん。「夢？あまり背伸びせず、できる範囲のことを夫婦ふたりでのんびりと長く続けたいですね」と笑顔でお答えくださいました。

全国各地に「ほつとらいん」のような優しい音色を醸し出すミュージシャンがいて、心温まる「スローライブ」を開催しています。この秋は夫婦ふたりで、癒しのライブに出掛けてみてはいかがでしょう。



●青空の下で気持ちよく演奏。滋賀県伊吹町(現、米原市)「ゆうすげ祭り」にて。



秋の夜長を
スローに過ごして
みませんか。

「ライブ鑑賞」と言っても、音楽ジャンルによつてその楽しみ方はさまざま。アツペンポのポップスや、どつしりとしたジャズライブ、パフォーマンスやミュージカルライブもあります。しかし、夫婦で音楽の趣味が合わない、なかなか一緒に楽しむことが難しい、そこで、秋だからこそぜひおすすめしたいのが、自然素材で作られた楽器のリラクゼーションコンサート。日頃の疲れた身体や心を癒すにはピッタリのやさしい音色を楽しんでいただきたいと思っています。



「コカリナ」という楽器をご存知ですか？ わずか長さ8センチで手の中にすっぽりと納まってしまいう小さな木笛。「小さな木のオカリナ」という意味から名付けられたそうです。そのルーツは東ヨーロッパ・ハンガリーで、当初はさくらの木で作られていました。現在は、かえで・なら・杉・ク



芸術の秋、
心やすらぐ音楽を鑑賞。
コンサートへ出掛けませんか？

今回ご紹介したいのは、ゆったりとした雰囲気の中で音楽を楽しむ、「スローライブ」ならぬ「スローライブ」です。



平尾卓志さん、美季さん ●PROFILE
ご夫婦で地域に根ざした音楽活動を25年以上続けている近江八幡在住の歌のボランティアグループ「ほつとらいん」。その演奏の場はホールの中だけに留まらず、ヨシ刈りやさまざまな自然環境をテーマにしたイベント、琵琶湖のほとりから黒四ダムの展望台まで、要望に応じてどんなところへも精力的に出かけて行き、やすらぎの音楽を奏でている。